

2025年度 適性検査

「国語の読解力」

【大問 1】 次の各設問に答えなさい。

(全 10 問／配点 63 点)

問 1 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

「」という言い方がある。There is no accounting for taste.——大学受験で必ず覚えさせられる言い回しの一つだ。直訳すれば「味（好み・趣味）については説明が出来ない」という意味になる。まことにその通りではあろう。ある音楽を聴いて何かいい気分になったとする。それがホテルのラウンジで流れていたムードミュージックであれ、ラジオでふと耳にした名前も知らないシンガーソングライターの歌であれ、テレビのコマーシャルでたまたま使われていたクラシック音楽のひと節であれ、自分にとってどうしてその音楽が気になるのか（どうしてそれが好きなのか）、その根拠を説明したりする必要は別にない。「その聴き方は間違っている」などとケチをつける資格は誰にもない。他人がどう言おうと、どんな人にも自由に音楽を聴き、それについて自由に感じる神聖な権利がある。

しかしながら件の表現が「好みは感性だ」、「感性について語ることは無意味だ」、「どう感じようが人の勝手だ」といった方向で理解されるとすれば、つまり、好みの合う人だけで集団を作り、好み合わない人との対話を遮断するための方便として用いられるとすれば、それは少し寂しい。コンサートには行かず、ほとんど専らCDやパソコンからのダウンロードなどで音楽を聴くことを慣^{なら}わしとしている人々の場合は違うのかもしれないが、やはり大多数の人にとって音楽を聴く最大の喜びは、他の人々と体験を共有し、心を通わせ合うことにあるはずである。

(岡田暁生『音楽の聴き方——聴く型と趣味を語る言葉』)

問い：空欄に入るものとして最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① 破れ鍋に綴じ蓋
- ② 魚心あれば水心
- ③ 和して同ぜず
- ④ 千差万別
- ⑤ 蓼^{たで}食う虫も好き好き

問2 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

ホモ・エコノミクスは「合理的経済人」とも呼ばれ、広い意味では「自分の経済的・金銭的な利益や利得を第一に考えて行動する人」を意味している。もっと厳密な意味で使われる場合には、ここに完全に合理的で計算を間違えないとか、自分の好みを熟知していて周囲に流されないとか、そういった条件がつけ加わる。

自分の利益を第一に考えて行動することは、現在ではごく普通だ。スーパーで買い物するときを思い浮かべよう。値段が高めのものと安めのものの間でどちらを買うか判断するとき、私たちは品質や美味^{おい}しさ、新鮮さ、量など、いくつかの指標をもとに決定を下す。「はじめてのおつかい」の場合を除いて、買いに行く品物は一つではない。予算はだいたい決まっていて、私たちはそのなかで一番いい配分でいろいろなものを適量ずつお得に買おうとする。このとき人は、概ね^{おおむ}ホモ・エコノミクスとして行動している。

お得を目指すこうした□□は、経済行動としてはごく一般的なものだ。だがそれは、近代以前にはそれほど目立った人間像ではなかった。

(重田園江『ホモ・エコノミクス——「利己的人間」の思想史』)

問い：空欄に入るものとして最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① 行動様式
- ② 思考実験
- ③ 意見交換
- ④ 試行錯誤
- ⑤ 過剰適応

問3 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

雄太郎 僕はいろいろと紆余曲折^{う よ きょ せつ}してきたけれど、結果的にある結論に達したんだ。それが、今の僕の信条であり、生活理念だ。

三知夫 ほう、面白い。では聞かせてもらおうじゃないか。君の信条かつ生活理念をね。

雄太郎 ……人間は理想がなくても生きていける。

三知夫 ……なに？

雄太郎 理想なんて誰も欲しちやいないんだ。

三知夫 それがお前の出した結論なのか？

雄太郎 君も一度、歓楽街で働いてみるがいい。そこにあるのは、金や女に群がる欲望^{むしぼ}に蝕まれた人間たちや、快楽を享受することのみに人生の楽しみを見出す輩^{みいだ やから}たちだけだ。人間は、ただそうやって時間に身を委ねて生きていくだけの生物なんだ。でも、それでいいんだよ。それが人間の真の姿なんだ。

三知夫 それは違う。絶対に違うぞ。人間が人間たる所以^{ゆえん}は、他の獣と違うのは、自らの意志で自分の理想を追及し、システム化されたこの世界を少しでも変えていこうという、そのエネルギーの発露によってのみ、生きていく意義を見出していく生き物なんだ。ただ□□の赴くままに、ひたすら安寧と生きていく人生にいったいなんの意味があるんだ。だいいち、君はそんな腐敗した社会の粹組みの中で、無価値な歯車のひとつとして生きていくことに、なんら絶望を感じたりはしないのかね！

(青田ひでき「ノスタルジック・カフェ——1971・あの時君は」)

問い：空欄に入るものとして最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① 他者の意志
- ② 自分の欲望
- ③ 人間の本性
- ④ 獣としての恐怖
- ⑤ 生への意志

問 4 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

植物たちは、寒さや暑さに出会っても、それらから逃れるために動きまわることはありません。

その代わりに、冬の寒さに弱い植物たちは、寒さをしのぐために、夏から秋に花を咲かせてタネをつくります。アサガオやコスモスたちです。冬には、葉っぱや茎は枯れてしまいますが、子孫であるタネにいのちを託して、タネの姿で寒さをしのぐのです。

それに対し、夏の暑さに弱い植物は、夏の暑い期間を、暑さに強いタネで過ごします。そのために、春に花を咲かせ、暑くなるまでにタネをつくり、その姿で暑さをしのぐのです。春に花を咲かせた草花は、タネをつくって、夏に姿を消しています。

夏には、緑の植物が多いので、姿を消した植物は目立ちません。しかし、ナノハナやサクラソウ、スイートピーやカーネーションなど、春に花を咲かせた草花の姿を、夏に見ることはできません。

タネには、いろいろな役割がありますが、その大切な一つは、いのちを失うような環境に耐えて生きのびることです。タネは、葉っぱや茎がある植物の姿をしていると、いのちを失うような暑さや寒さに耐えて、何年も生きのびることができるのです。

(田中修『植物のいのち——からだを守り、子孫につなぐ驚きのしくみ』)

問い：本文に見られる表現上の工夫として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① 植物が寒さや暑さをしのぐ方法について、最初にまとめて述べたあと、最後に別の表現を用いて改めて説明している。
- ② 春夏秋冬の植物の様子を描くことによって、植物が寒さや暑さにどう適応しているかを整理して述べている。
- ③ 具体的な草花の名称を挙げて説明することで、植物が寒さと暑さをしのぐ場合で花やタネの形状が異なる点をわかりやすく示している。
- ④ 植物を擬人化した表現を用いることで、植物の形態が変遷していくことをイメージしやすくしている。
- ⑤ 「いのちを託し」「生きのびる」といった表現を多用することで、植物が常に絶滅と隣り合わせの厳しい環境にあることを想起させている。

問 5 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

その夜は吹雪で、借りていたロッジもさすがに底冷えし、母と妹は早めに二階の寝室へ戻っていた。男ふたりが居間に残り、無言で暖炉に向き合っていた。

父のグラスには濡れた氷塊^ぬが残っていた。室内に大空を連想させるものはなにひとつなかった。ぼくが伝えたいのはロッジやスキー休暇のことではなく次のことだ。そのとき炎を見つめていた父が、不意に吐息のようにいったのだ。

ラスベガスから就航便で飛び立つとき、よく隣の滑走路から小型機が離陸してゆくのを見たよ。こちらは定められた航路に沿って飛ぶだけだ。何十回、何百回とラスベガスから飛んでも、向かう先はいつも同じだ。しかし彼らは隣の滑走路から、自由に空へと羽ばたいてゆく。グランドキャニオンでも、ロスアンゼルスでも、行きたい方角へ旋回してゆく。その姿が羨ましかった。

だから浩暉^{ひろあき}、おまえは小型飛行機のパイロットになれ。

赤く照らされた父の顔を思い出す。浅黒い父の頬に細かな皺^{しわ}が浮かんでいた。そして父はこちらを向き、最後に白い歯を見せていった。

おれはジャンボのパイロットになった。だからおまえは小型機で、自由に飛ぶ生き方を選べと。

(瀬名秀明「ホリデイズ」)

問い：この文章の父の思いとして最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① 息子なら自分が果たせなかった夢を果たしてくれるであろうと確信し、誇らしさと喜びを感じている。
- ② 自分と同じように自由への強いあこがれをもつ息子に共感し、親子としての親しみと愛情を感じている。
- ③ 自分が心残りに感じていることを代わりに果たしてほしいと、息子に期待と希望を抱いている。
- ④ 自分と同じように、世界中を飛び回るパイロットになりたがる息子の身を案じている。
- ⑤ 自分と同じような後悔を息子にはしてほしくないと思い、強い危機感を抱いている。

問6 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

現代の価値相対化の時代において、すぐに人々の口をついて出てくる言葉がある。それは「何が真実かわからない」という言葉である。しかし、そうであろうか？ 外面的真実は、揺らぐことがあろう。しかし、すべての人は、自分がいま何を考え、何を感じているか、そのとき何を考えていたか、何を感じていたかは、よく知っているのではないか？

すべての人は、理性的であるかぎり、自分の内面的真実を知っているはずである（これを「^{えいち}叡知的性格」という）。しかし、少なからぬ人において、それが混濁し見通せないように思われるのは、そこに知らず知らずのうちにソン・トクを混入させるからなのだ。そして、自分にとってトクな（社会的制裁を受けないような）内面的真実のみを残し、自分にとってソンな（社会的制裁を受けるような）内面的真実を抹殺するからなのだ。

カントは、このメカニズムをよく知っていたがゆえに、われわれは常に自分の内面を厳しく点検しなければならないと考えた。そして、それは誰でも真剣にやろうとすればできると考えた。そして、そうしないのは、その人が ように自己を形成してしまった（これを「経験的性格」という）からだと考えたのである。

（中島義道『ウソつきの構造 法と道德のあいだ』）

問い：空欄に入るものとして最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① 外面的真実に合う
- ② 内面的真実を見ない
- ③ 外面的真実と矛盾する
- ④ 内面的真実を疑う
- ⑤ 外面的真実を気にしない

問7 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

「大きな政府」が機能したのは、戦後の先進諸国の経済成長が背景にあったからだった。すなわち 1960 年代末頃までだった。その後、1970 年代に二度の「オイルショック」が起きたことがきっかけで、世界的に経済混乱がもたらされた。これにより、世界各国で国家の財政赤字が膨らんだため、国家負担を軽減すべく、1980 年代以降、新自由主義国家政策すなわち、「小さな政府」が謳^{うた}われることになった。これによって目指されたのは、国営事業や公営事業の民営化、また、国家による市場介入を制限して、市場を自由放任にすることが国民に公平と繁栄をもたらすとする市場原理主義である。これを推進するためにも市場の自由を妨げるさまざまな領域での規制が緩和されていった。

ここで注目したいのは、これら新自由主義政策の推進が、社会サービスからの国家の撤退を意味するということである。そうすると、国家の保護に守られない人びとが出てくることになり、こういった人びとを支援することが求められるようになる。

(和田伸一郎「情報技術と社会の再設計

——労働からみたメディア社会の変容——」)

問い：本文の内容として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① 新自由主義政策によってもたらされた経済混乱が、国家の保護に守られない人々の不公平感を増大させた。
- ② 新自由主義政策によってもたらされた国家による市場介入が、国家の保護に守られない人々の社会サービス需要を増大させた。
- ③ 国営事業や公営事業の民営化によってもたらされた経済混乱が、市場における国民の不公平感を増大させた。
- ④ 市場原理主義にもとづく新自由主義政策が、国家の保護に守られない人々の社会サービス需要を増大させた。
- ⑤ 多領域での規制によってもたらされた経済混乱が、国家の保護に守られない人々の不公平感を増大させた。

問 8 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

脳科学や心理学などの知見では、人間の行動の多くが「意識していない」認知メカニズムに左右されていることが、近年よく分かってきた。私たちは自分では合理的に判断し行動しているつもりでも、「記憶・感情・注意などが働く際に、無意識の偏り」が作用し、「自分たちの意思とは裏腹な行動をとることが多い」（シャンカール・ヴェダンタム、『隠れた脳——好み・道徳・市場・集団を操る無意識の科学』、渡来圭子訳、インターシフト発行、2011）。ここで無意識の偏り（アンコンシャス・バイアス）とは、「行動と意図が相反している状況」を意味する。つまり、私たちは、自分では「性別等に関わりなく、公平に行為している」と考えていたとしても、アンコンシャス・バイアスによって、差別してしまうことが広範に起きるというわけだ。

実際、心理学等におけるこれまでの研究では、他者の能力や業績評価等において、評価者が意識していなくても、性別や出身民族・人種などによってかなり大きな影響を受けていることが明らかになっている。たとえば、写真や名前など、性別・人種・出身民族を示す情報を隠した場合、隠さない場合と比較して、女性・有色人種・非英語圏出身者等の評価が、有意に高くなるという。隠さない場合には、写真や名前などの情報が、「無意識」的に影響を与え、マイノリティに対する評価が低くなるのだ。

（江原由美子『「無意識」という問題』）

問い：本文の内容として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① 人間が公平にふるまっているつもりでも差別してしまうのは、無意識下で特定の属性を低く評価しているためだと考えられる。
- ② 人間が他者を評価するときは、評価を受ける人間のマイノリティ属性を秘匿すると、その人間の能力を正確に測ることができる。
- ③ 人間の他者評価の多くは無意識のうちに自分の性別・出身民族・人種などの影響を受けるため、自身の属性がもたらす偏見を自覚することが大切である。
- ④ アンコンシャス・バイアスによる偏った評価を防ぐためには、マイノリティを意識的に高く評価する必要がある。
- ⑤ 私たちがアンコンシャス・バイアスに自覚的になることで、マイノリティの社会的評価が改善されることが期待される。

問9 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

東京の空は何時もグレイの※ホリゾントのようにのっぺりと広がり、澄みきることがない。朝と夕にはピンクと紫の縞^{しま}を作り、晴天の日にさえ排気ガスで淀^{よど}み、夜は地上の灯^{あか}りを抱いて鉛色に光る。頭上に気だるくのしかかるこの空から、いったい誰が、どこまでも高く、果ては宇宙まで続いているという無限を感じるのだろうか。

東京の空を見上げる時、私の頭にはいつも、ある小説のタイトルが浮かぶ。
倦怠^{けんたい}期^きにあるアメリカ人夫婦が北アフリカを旅する話。絶望的な結末を迎える物語。ポール・ボウルズの代表作『天蓋の空 (The Sheltering Sky)』である。

旧約聖書では、空は神が人間のために作った天蓋であるとされている。天蓋の上には水があり、天蓋は屋根となって水から人間を守っている。神によって水の中に創成された物理的空間、それが生あるものが暮らす世界と信じられていたのだ。覆われた空の下、神の加護と支配のもとに生きる人々。時には安堵^{あんど}。時には恐ろしいまでの閉塞感。それは、私の、東京に対するアンビバレントな思いとぴったり重なる。

(長谷部千彩「私の住む街」)

※ホリゾント——照明をあてて背景に利用する、劇場の舞台奥にある幕や壁のこと。

問い：「ある小説のタイトルが浮かぶ」とあるが、なぜか。「ある小説は、」に続けて、「～から。」につながる形で30字以内で抜き出して答えなさい。

問 10 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

※¹板谷波山が書いた「美術学校時代の※²岡倉先生」によれば、天心はポケットマネーで景品を買って学生に題を課し、作品を競争させたという。

題名はたとえば、「笛声」「明月」「※³陸離」などだが、「笛声」でも、公家さんなどが野原で笛を吹いていたりしたのではいかん。「明月」でも、明るい月が出ていたのではいかん。「陸離」は文字だけ読んで、風船が陸を離れたたり、舟が岸を離れたりするすると早合点してはいけない（そういう実例があったらしい、この言葉の意味を解説するのは面映ゆいから、暇がある人は広辞苑などを見ていただきたい）。つまり「絵は説明ではない」と言っているのである。

思い出すことがある。それはもう四十年以上も前の日展でのこと、※⁴有島生馬の「愛犬」という題名の作品の前の椅子に腰をかけて休んでいたところ、隣にいた見知らぬ人が声をかけてきた。「なんとすばらしい絵だろう、愛犬という題だが、愛犬そのものは描いてない、しかしそれをみつめる女性（和服正装の女性）の目つきで、そこに犬がいることがわかる」と言うのだった。

たしかにこの絵はいい。若いわたしが、いいとか悪いとか言う場合ではなかった。しかし、絵が題名の説明でないのと同じように、題名もまた絵の説明であってはなるまい。つまり、隣の人が、題名によって絵を判断しているのはいかなものかと思った。

（安野光雅『絵のまよい道』）

※ 1 板谷波山——陶芸家（1872～1963）。

※ 2 岡倉先生——岡倉天心（1863～1913）。美術行政家、思想家。

※ 3 陸離——光が入り乱れて美しいさま。

※ 4 有島生馬——画家（1882～1974）。

問い：「題名もまた絵の説明であってはなるまい」とあるが、筆者が考える望ましい鑑賞態度はどのようなものか。30字以内で説明しなさい。

【大問 2】 次の文章と資料を読んで、後の問 1～5 に答えなさい。(全 5 問／配点 37 点)

有償労働とは、市場で労働力を供給することによって賃金などの対価を得る労働のことであり、無償労働とは、家事・育児・介護やボランティアなど、家族や他人のために行われる対価のない労働のことである。日本では、有償労働と無償労働の分担において、男女間に大きな格差が存在する。

まず、有償労働と無償労働の現状について見てみよう。O E C D の統計 (2021 年) にもとづく ㉠ グラフ 1 を見ると、男性が有償労働に多くの時間を費やし、女性が無償労働に多くの時間を費やす傾向がどの国にもみられるが、この傾向は日本や韓国で顕著である。

グラフ 1 では日本における有償労働時間と無償労働時間の男女差はともに 180 分以上となっている。つまり、日本では男性が女性よりも 1 日当たり約 3 時間多く有償労働を行う一方で、女性が男性よりも 1 日当たり約 3 時間多く無償労働を行っているのである。

このようなジェンダーギャップが生まれる背景には、いくつかの要因がある。まず、出産する性別である女性がそのまま育児の主体を担うことが多く、女性の無償労働時間は長くなりがちである。また、育児の時間を捻出できるパートタイム労働など、有償労働時間の短い非正規雇用への女性の就業が多いという事情がある。また、グラフ 2 を見ると、男性では年収が下がると未婚率が上がっていく傾向があり、㉡ がうかがえる。しかも、この傾向は 2012 年から 2022 年まで大きな変化はみられない。

いわば、育児の主体は女性、稼ぎ手の主体は男性という過去の社会的な分業が維持され続けているのが日本の実態だといえる。

しかし、こうした格差はさまざまな社会問題を引き起こしている。

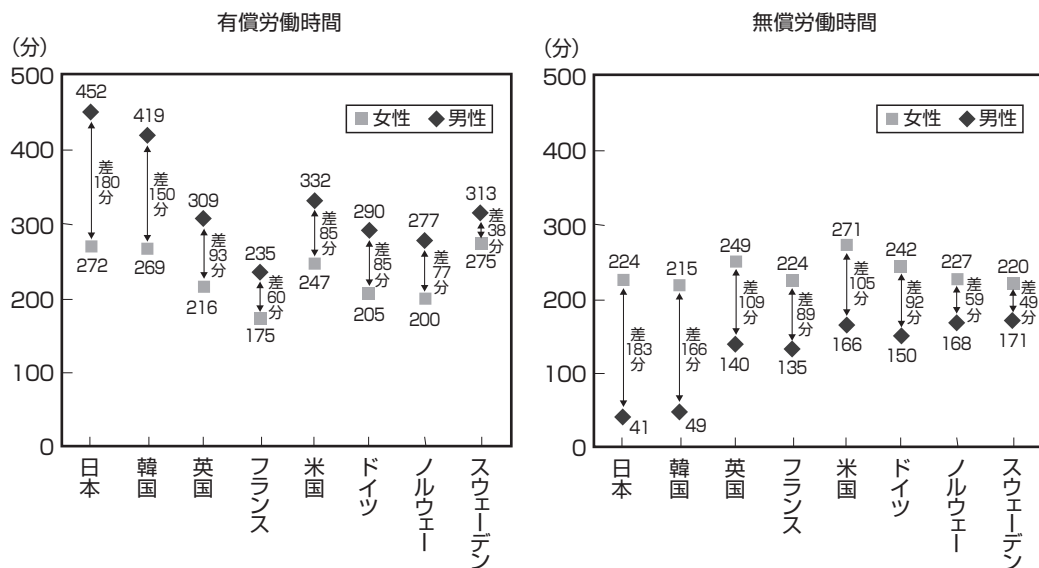
一つは、女性の経済的自立の阻害である。㉢ が強化された社会では、女性は非正規雇用の割合が高くなりがちだけではない。女性が、賃金が低い労働への従事や管理職になる機会が少ない状況に置かれやすくなる結果、有償労働において、女性が男性に比べて評価されづらくなる。実際、O E C D の 2022 年の調査では、全体平均の男女間賃金格差は 12.1% であるのに対し、日本は 21.3% と大きくなっている。また、金銭的価値に換算しにくい無償労働は社会的に評価されにくいという不公平さもある。

もう一つは、労働による健康被害である。有償労働の負担の比重を男性におく社会では、男性は女性に比べて、長時間労働や過重な責任によるストレスで健康被害にさらされやすい。例えば、近年の日本の労働災害（労災）補償状況を見てみよう。表 1 の脳・心臓疾患についての件数を見ると、全年度で男性が女性を大きく上回っており、2022 年には男性の件数が女性の 5 倍以上になっている。つまり、表 2 で 2020 年から 2022 年の就業者数の男女比が 1.2 となっていることを考慮しても、労働時間中、男性の方が大幅に脳・心臓疾患の健康リスクの高い状況下に置かれていることが推測できるのだ。一方、精神障害については、2021 年を除いて、男性の方が女性より件数がわずかに多い状況にある。

では、有償労働と無償労働のジェンダーギャップを解消するためには、どのような変革が必要なのだろうか。一つは、制度的な規制や是正により、有償労働における男女間格差を解消することである。具体的には時間外労働の厳格な規制と賃金格差の是正である。男性の長時間労働が減れば、男性が無償労働に費やす時間が生まれる。職場では不足する人手の分、女性の労働力がより必要とされるようになるため、女性の有償労働参加を促すことにつながる。また、同一労働同一賃金の原則を徹底することで、女性の有償労働の評価を高めることができる。もう一つは、労働におけるジェンダーバイアスの排除である。「男性はソト（＝有償労働）、女性はウチ（＝無償労働）」といった意識面での偏りは依然として存在する。このような性別役割分業の意識は、歴史や文化によって醸成される社会的慣習と結びついている部分も大きく、一朝一夕に解消することは困難であるが、これを排除する努力も欠かせない。

以上のように、有償・無償を問わず、労働における ④ ことが、先に述べた社会問題を解決するために必要なのである。

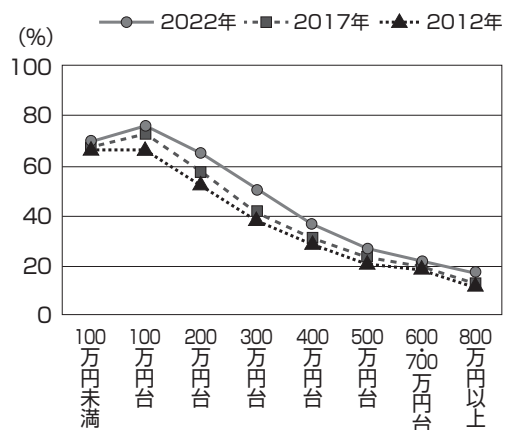
グラフ1 有償労働時間と無償労働時間の状況（週全体平均・1日当たり）



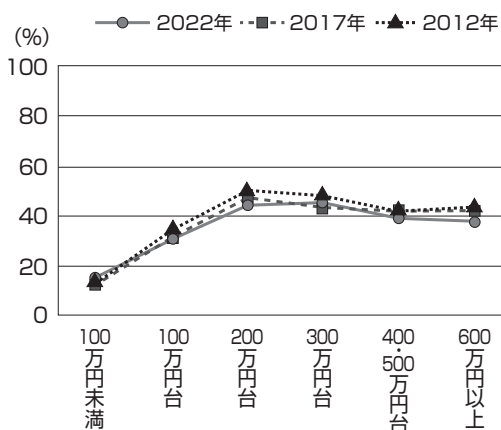
内閣府「令和5年版 男女共同参画白書」をもとに作成

グラフ2 男女別にみた年収区分別の未婚率

(1)男性(30代有業者)



(2)女性(30代有業者)



※有業者には非正規雇用者を含む。就業構造基本調査における「所得」を年収と表記している。

内閣府「令和5年度 年次経済財政報告」をもとに作成

表 1 労災補償状況（決定件数）

(1)脳・心臓疾患

年度	2020	2021	2022
男	577	458	425
女	88	67	㉔
計	665	525	㉕

(2)精神障害

年度	2020	2021	2022
男	1,019	㉖	1,020
女	887	985	966
計	1,906	㉗	1,986

厚生労働省「令和 4 年度 過労死等の労災補償状況」をもとに作成

表 2 男女別就業者数

年度	2020	2021	2022
男（万人）	3,724	3,711	3,699
女（万人）	2,986	3,002	3,024
男女比（女性数を 1 とした男性数）	1.2	1.2	1.2

問 1 下線部㉔に関して、グラフ 1 からわかることとして最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① 男性の有償労働時間が最も長い国は韓国で、女性の有償労働時間が最も長い国は日本である。
- ② 有償労働時間と無償労働時間ともに、フランスの方がドイツよりも男女の差が大きい。
- ③ 有償労働時間と無償労働時間ともに、韓国はスウェーデンの 3 倍以上男女の差が開いている。
- ④ 米国では、有償労働時間の男女の差の方が、無償労働時間の男女の差よりも大きい。
- ⑤ ノルウェーの有償労働時間と無償労働時間は、男女ともにスウェーデンよりも短くなっている。

問 2 空欄⑥に入る内容として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① 稼ぎ手としても育児の担い手としても、男性が主な役割を期待されている日本社会の風潮
- ② 育児を主導する担い手として、男性が主な役割を期待されている日本社会の風潮
- ③ 家計を支える稼ぎ手として、女性が主な役割を期待されている日本社会の風潮
- ④ 稼ぎ手としても育児の担い手としても、女性が主な役割を期待されている日本社会の風潮
- ⑤ 家計を支える稼ぎ手として、男性が主な役割を期待されている日本社会の風潮

問 3 表 1 の㉗～㉝に当てはまる数値の組み合わせとして最も適当なものを、本文の内容を踏まえて、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- | | | | |
|--------|-------|-------|---------|
| ① ㉗ 79 | ㉘ 504 | ㉙ 989 | ㉚ 1,974 |
| ② ㉗ 84 | ㉘ 509 | ㉙ 968 | ㉚ 1,953 |
| ③ ㉗ 85 | ㉘ 510 | ㉙ 990 | ㉚ 1,975 |
| ④ ㉗ 88 | ㉘ 513 | ㉙ 980 | ㉚ 1,965 |
| ⑤ ㉗ 90 | ㉘ 515 | ㉙ 984 | ㉚ 1,969 |

問 4 本文の内容を踏まえて、空欄㉞に入れるべき適切な内容を本文中から探し、7 字以内で抜き出しなさい。

問 5 本文の内容を踏まえて、空欄㉟に入れるべき適切な内容を、20 字以内で答えなさい。